

通学路・生活道路の安全確保に向けた対策はなぜ進まないのか

伊藤久雄（NPO法人まちぼっと理事）

昨年（2021年）6月、千葉県八街市で小学生の列にトラックが突っ込んで児童5人が死傷した事故など、全国的に小学生が被害にあうケースが発生している。昨年9月といえば、第11次交通安全基本計画（交通事故のない社会を目指して）が3月29日に策定、公表されたばかりであった。

国（国土交通省や文部科学省）も手をこまねいていたばかりではない。文部科学省は2019年（平成31年）3月、「通学路の交通安全の確保の徹底について」（事務連絡）を各都道府県・指定都市教育委員会学校安全主管課等に発出している（同様の通知は2013年（平成25年）にも発出している）。また国土交通省も2019年（平成31年1月）、「通学路・生活道路の安全確保に向けた道路管理者による対策実施事例」を作成、公表している。

そこで本稿ではこの通知や事例集などの主な内容を概観した上で、自治体の取組みが進まない現状を考えることとしたい。

1. 国の取組み

(1) 交通安全基本計画

国（中央交通安全対策会議）は5か年計画である交通安全基本計画を策定している。現在は第11次にあたり、昨年（2021年）3月に策定され、2021年度（令和3年度）～2025年度（令和7年度）の5か年が計画期間である。交通安全基本計画は以下のように、陸上交通、海上交通、航空交通というすべての交通の安全計画である。

第1部 陸上交通の安全

第1章 道路交通の安全

第2章 鉄道交通の安全

第3章 踏切道における交通の安全

第2部 海上交通の安全

第3部 航空交通の安全

本稿の主題である「道路交通の安全対策」については、＜重視すべき視点＞として以下の6点をあげている。具体的には参考資料を参照していただきたい。

- (1) 高齢者及び子供の安全確保
- (2) 歩行者及び自転車の安全確保と遵法意識の向上
- (3) 生活道路における安全確保
- (4) 先端技術の活用推進

- (5) 交通実態等を踏まえたきめ細かな対策の推進
- (6) 地域が一体となった交通安全対策の推進

(2) 文部科学省の通知内容と現状

文部科学省が2019年(平成31年)に事務連絡した「通学路の交通安全の確保の徹底について」には、次のくだりがある。

『まず平成25年12月6日付け通知の別紙(別添参照)を踏まえ、各地域において関係機関の連携による継続的な取組を推進されますようお願いいたします。特に、推進体制が未構築の自治体にあつては、関係機関と連携して早期に構築していただくよう格段の取組をお願いします』。その別紙である「通学路の交通安全の確保に向けた着実かつ効果的な取組の推進について」は次のような構成になっている(全文は参考資料で)。

1. 推進体制の構築

推進体制の構成は、通学路における安全対策の関係機関となる、教育委員会、学校、PTA、警察、道路管理者を含めることを基本とし、必要に応じて自治会代表者や学識経験者を加える。推進体制については、市町村単位で構成することが望ましい。

2. 基本方針の策定

(1) 合同点検の実施方針

合同点検の実施時期、合同点検の体制、合同点検の実施方法等を定める。

(2) 通学路安全確保のためのPDCAサイクルの実施方針

合同点検の実施・対策の検討、対策の実施、対策効果の把握、その結果を踏まえた対策の改善・充実を一連のサイクルとして繰り返し実施すること(PDCAサイクル)が継続的な安全対策のために必要であることから、これらを取組みの基本的な方針として定める。

3. 公表等

(1) 基本方針の公表

(2) 対策箇所図、対策一覧表の作成・公表

文部科学省は、以上のような「通学路の交通安全の確保に向けた着実かつ効果的な組の実施状況について、2017年度(平成29年度)末時点の進捗状況を公表している。この調査は、各地域における推進体制の構築や基本方針の策定について、全国の市町村教育委員会に調査を依頼したものである。

調査結果は以下のとおり。

1 推進体制の構築(全国1741市町村)

構築している	1680
構築していない	61

2 私立学校の参加状況(推進体制を構築している1680市町村)

参加している	8
参加していない	183
私立学校(小学校)の設置なし	1489

3 プログラムの策定状況(推進体制を構築している1680市町村)

策定している	1640
策定していない	40

4 プログラムの公表状況(プログラムを策定している1640市町村)

公表している	1205
公表していない	435

5 プログラムの策定予定(プログラムを策定していない40市町村)

平成30年度中	19
未定	21

6 推進体制の構築予定(推進体制を構築していない61市町村)

平成30年度中	32
未定	29

なお、都内自治体の安全対策については拙文「通学路の安全対策 読売新聞調査と都内自治体の課題 (2021/11/8 まちぼっとリサーチ) を参照されたい (参考資料)。

(2) 国土交通省の通学路・生活道路の安全確保に向けた道路管理者による対策実施事例

事例一覧は次ページに示した。

この一覧の中で、市区町村が取り組むべき対策は、単路部における次の対策だと思う。

- 速度の抑制
 - ・ハンブ・スムーズ歩道
 - ・狭さく
 - ・シケイン
 - ・路面標示
 - ・警戒標識
 - ・速度検知センサーの設置
 - ・ブロック系舗装 (
- 歩行空間等の確保 (次々ページ)

通学路・生活道路の交通安全対策の事例一覧

	単路部	交差点部
交通量の抑制		<ul style="list-style-type: none"> ・ライジングボラードの設置 (P1) ・バリケードの設置 (P2) ・ブロック系舗装 (P3)
速度の抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンプ・スムーズ歩道 (P4) ・狭さく (P7) ・シケイン (P9) ・路面標示 (P10) ・警戒標識 (P11) ・速度検知センサーの設置 (P11) ・ブロック系舗装 (P12) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンプ・スムーズ歩道 (P13) ・狭さく (P15) ・路面標示 (P17) ・警戒標識 (P18) ・カラー舗装 (P20) ・ブロック系舗装 (P21) ・歩行者感知システムの設置 (P22) ・交差点改良 (P23)
歩行空間等の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道設置 (P24) ・歩道拡幅 (P26) ・路側帯拡幅 (P28) ・無電柱化 (P30) ・自転車通行空間 (P31) ・踏切拡幅 (P33) ・防護柵 (P34) ・カラー舗装 (P36) ・ブロック系舗装 (P37) ・ラバーポール等の設置 (P38) ・外側線の高輝度化 (P39) ・二段階横断施設 (P40) ・側溝の改修 (P42) ・平張コンクリート設置 (P43) ・歩車共存道路等 (P43) 	<ul style="list-style-type: none"> ・防護柵 (P45) ・歩道だまりの確保 (P46)
ドライバーの視認性向上		<ul style="list-style-type: none"> ・道路反射鏡 (P47) ・目かくし板撤去 (P48) ・立入防止フェンスの移設 (P48)
関係者との連携・協力の取組事例	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携による対策の実施 (P49) ・合同点検の実施 (P59) ・対策の検討 (P62) ・整備効果の把握 (P64) ・通学路交通安全プログラムの策定 (P70) ・情報発信 (P74) 	

○ 歩行空間等の確保

- ・ 歩道設置
- ・ 歩道拡幅
- ・ 路側帯拡幅
- ・ 無電柱化
- ・ 自転車通行空間
- ・ 踏切拡幅
- ・ 防護柵
- ・ カラー舗装
- ・ ブロック系舗装
- ・ ラバーポール等の設置
- ・ 外側線の高輝度化
- ・ 二段階横断施設
- ・ 側溝の改修
- ・ 平張コンクリート設置
- ・ 歩車共存道路等

それぞれの事例は、対策を行った地名とともに、対策前と対策後が写真で紹介されている。現在でも有効活用が可能な資料である。

2. 「道路管理者による対策実施事例」を作成後の自治体の取組み

最近の報道から、鳥取県と島根県の取組みを紹介する。

○ 横断歩道の路面盛り上げ減速促す 鳥取・日進小通学路で実証実験 登下校中の事故防止へ（日本海新聞 1/26(水)）

悲惨な交通事故から児童を守るため、横断歩道の路面を周囲より盛り上げ、車両の速度抑制を試みる実証実験が25日、鳥取市内で始まった。実験は同市吉方温泉1丁目の日進小の通学路で1カ月間実施。車両が通過する時の速度の変化などを確認する。

昨年6月、千葉県八街市で通学中の児童がトラックにひかれるなど、全国的に小学生が被害に遭うケースが発生している。鳥取県警によると、県内でも登下校中に車にひかれるなどの事故が年間数件起きている。

実験では、日進小の児童が登下校に利用する同市寺町の新橋北側の約4メートルの横断歩道の路面を、約10センチ盛り上げ、横断歩道につながる各約2メートルの両端部分にもスロープを設置した。現地では主要道への抜け道として交通量が多く、住民から対策が求められていた。

これまでは、カラー舗装などを施し、指定区域を時速 30 キロに規制する「ゾーン 30」などに取り組み、速度抑制を呼び掛けてきた。今回は横断歩道部分のかさ上げにより、乗用車の減速を促す効果が期待できる。また、運転手が横断歩道があることを遠くから認識し、児童などの歩行者を視認しやすくなる効果もある。

実験初日の 25 日、児童が新設された横断歩道を通って登下校した。実験は 2 月 24 日まで続け、期間中は国土交通省鳥取河川国道事務所が、車両の速度などを計測する。実験の効果を検証し、導入に向けた検討を行う。

県警交通規制課の佐々木秀人次席は「結果を検証して、交通事故抑止対策に反映させていきたい」と話した。

○ 松江に「減速横断歩道」 両県初 路面盛り上げ 車から見やすく

(山陰中央新報デジタル 021/12/2)

「スムーズ横断歩道」の設置検討＝鳥取市のウェブ検索結果 @search : @nifty
仮設された「スムーズ横断歩道」を渡る児童＝松江市学園 1 丁目

【動画】 <https://www.sanin-chuo.co.jp/articles/-/129597>

路面を盛り上げることで車から見やすくして、速度も抑える「スムーズ横断歩道」が 1 日、山陰両県で初めて松江市学園 1 丁目の市道に設置された。国土交通省や市などが、20 日まで車の通過速度の変化や歩行者の横断状況を調べ、常設を検討する。

「ハンプ」と呼ばれる取り外しが可能で、高低差約 10 センチの緩やかな段差があるゴム製シートを敷く。車両が揺れることで速度を抑える仕組み。車から歩行者を見やすくなる。現在は試験段階で、国土交通省が希望する自治体に貸し出している。

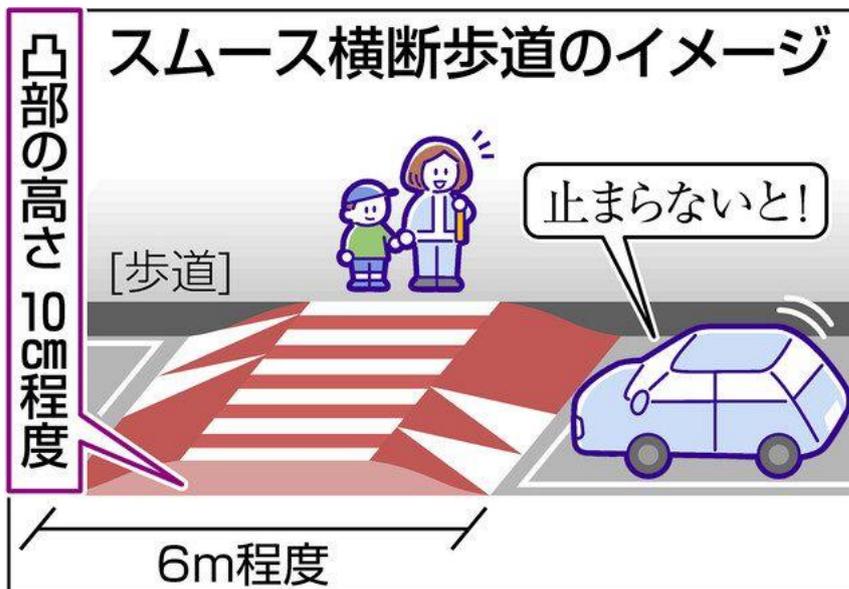
設置場所は信号機のない横断歩道で、市立母衣小学校の通学路。公園内を通る道路と市道が交わる部分で 30 キロ規制区域だが、「くにびき道路」と「学園通り」の二つの幹線道路をほぼ直線で結ぶため、スピードを出して通り抜けようとする車があり、横断しにくいとの声が上がっていた。

1 日は松江市や島根県警の担当者が利用状況を視察した。国交省がカメラを設置するなどして、車の走行速度や、歩行者優先が守られているか調べる。松江市都市整備部の桂昭治次長は「結果を踏まえ、今後の安全対策に生かしたい」と話した。(中村成美)

3. 今後の課題

鳥取県や島根県のような取り組みは、国土交通省と警察庁が連携して全国的に行われている。この「スムーズ横断歩道」は、車の減速を物理的に促す対策と、最高速度を時速 30 キロに制限する「ゾーン 30」の交通規制を組み合わせ、通学路などの安全確保を目指す取り組みの一環。仮設も含めて全国各地に 42 カ所設置されているという (昨年 11 月 26 日時

点、宮崎日日新聞)。



警察庁によると、2016年～20年に道路横断中、車にはねられるなどして亡くなったのは全国で計4,045人、うち3割超の計1275人が横断歩道を歩行していた(2021年6月25日、中日新聞。上図も)。この記事にあるように、横断歩道の歩行中に亡くなった人は道路横断中の3割超である。「スムーズ横断歩道」はあくまで横断歩道が設置してある、比較的幅員の広い道路である。

「スムーズ横断歩道」も新聞記事にあるように「実証実験」で仮設のところが多いように思われる。今後、仮設から本格実施へと進むかどうかが課題である。さらに横断歩道以外の幅員の狭い道路の対策が急務である。先に紹介した国土交通省の通学路・生活道路の安全確保に向けた道路管理者による対策実施事例を参考に、都道府県や市区町村でより強力な取り組みを進めることが課題である。

国土交通省事例の中でも、「歩行空間等の確保」は歩道設置、歩道拡幅、路側帯拡幅、無電柱化、自転車通行空間、踏切拡幅防護柵などは用地買収の必要な対策が多く、予算の確保も課題である。国土交通省も思い切った補助金を確保し、都道府県や市区町村を支援することが求められる。もはや、事例集の発行で済ませる時期ではないと考える。

<参考資料>

- 通学路・生活道路の安全確保に向けた道路管理者による対策実施事例
(平成31年1月 国土交通省道路局)

<https://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/pdf/a-jirei.pdf>

- 第11次交通安全基本計画(2021年3月、中央交通安全対策会議)

全文 https://www8.cao.go.jp/koutu//kihon/keikaku11/pdf/kihon_keikaku.pdf

概要 https://www8.cao.go.jp/koutu//kihon/keikaku11/pdf/kihon_keikaku-g.pdf

- 通学路の交通安全の確保の徹底について（平成 31 年 3 月 8 日 文部科学省）
https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/anzen/1417907.htm
- 文部科学省 【別添】平成 25 年通知（平成 25 年 12 月 6 日）
https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/anzen/_icsFiles/afieldfile/2019/06/12/1417907_03.pdf
- 通学路の交通安全の確保に向けた着実かつ効果的な組の実施状況について（平成 29 年度末時点の進捗状況（文部科学省））
https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/anzen/_icsFiles/afieldfile/2019/06/12/1417907_02.pdf
- 通学路の安全対策 読売新聞調査と都内自治体の課題（2021/11/8 まちぽっとリサーチ）
<https://machi-pot.org/?p=2846>